

## 連載コラム

### ～ コーチングコミュニケーションが人を育てる ～ <第14回>

「常識を疑ってみよう！」について

みなさん、こんにちは、(・∀・)ノユッキーこと、  
コーチング研修会社ドリームフィールドの阿部侑生です。

私、先日、衝撃的なことを知りました。

東京大学の研究グループが「テレポーテーション」の実験に成功したというのです。

なんと「瞬間移動」に成功したのというのですよ！？

ウィキペディア※によると、テレポーテーションとは超能力の一種で、瞬間移動のことをいい、  
物体を離れた空間に転送したり、自分自身が離れた場所に瞬間的に移動したりする現象、  
及び能力のことである、と書いてあります。

テレポーテーションという、古くは「フィラデルフィア事件」というアメリカの海軍で

秘密裏に行われた瞬間移動実験があると言われていています。乗組員が怪死するという…。(すみません、マニアックな話で…)

いわゆる都市伝説的なネタですが、私はこういう話が昔から大好きでした。

しかしながら、本当のところは「テレポーテーションなんて所詮、SF 映画の世界の話でしょ」くらいにしか  
思っていませんでした。しかし、あの東京大学でテレポーテーションの研究をしていたことにも驚きだけれども、  
実験に成功したとは！本当に価値観がひっくり返るようなニュースでした。

テレポーテーションから話題がそれますが、そもそも人間は「目に見えない」けれど、

とても素晴らしい能力を兼ね備えているみたいです。身体が事前に危険を察知する予知能力とか、  
体の痛い箇所に手を当てて、手のひらから出る「気」で痛みを緩和していたことから、「手当て」という  
言葉が生まれたり、目に見えなくても影で自分たちを守ってくださっているご先祖様たちがいることを  
わかっていて、感謝の気持ちをこめて「おかげさまで」と言う言葉を使った、などなど。

しかし現代社会では、そのような話はなかなか理解されにくくなっているような気がしてなりません。

このような、人間が元々兼ね備えている素晴らしい能力に蓋をしているものの一つが「常識」なのではないか  
と思うのです。「普通は～でしょ。」「そんなの常識はずれだ」とか、私たちは簡単に言いますが、  
実は自分たちが勝手に作った常識の中で生きていただけであって、それは意外と常識ではないかも  
しれません。ですので、たまには常識を疑ってみることも必要なのではないかと思うのです。

これって、本当なのかな？って。

そして、我々大人が気をつけなければならないのは「大人の常識を

子どもに押し付けること」ではないでしょうか。「あなたにはアイドルなんて無理」「漫画家なんて食べていけな  
いよ」と言われて、チャレンジする前から諦めてしまいそうになっている子供たちをたくさん見てきました。

本人がやってみて「ダメだ、向いてないな」と気づくならいいけれど、諦めるのが早すぎる。  
なぜなら人間は皆、金の卵でしかないのです。みんなすごい人なのです。  
これから先、ますますいろんな発明があったり、テレポーテーションのように常識が覆されることもたくさん出てくると思います。だからこそ、自由な考え方ができるとさらに楽しくなるのではないのでしょうか。

さて、皆さんは瞬間移動できるとしたら、どこへ行きたいですか？  
私はロンドンに言って映画 007 のジェームスボンドに会ってみたいです！  
できれば最年長ボンドガールになりたいです（常識はずれが奇跡を起こすのです。ふふふ。）  
ではまた来月もお楽しみに♡( ^ \_ ^ )♡

※ウィキペディアとは、非営利団体のウィキメディア財団(Wikimedia Foundation)が主催している、利用者が自由に執筆できるインターネット上のフリー百科 事典のことです。

#### \*プロフィール\*

阿部 侑生（あべ ゆき）

ドリームフィールド代表。

文部科学省認可（財）生涯学習開発財団認定プロフェッショナルコーチ。

フリーアナウンサーとしてミヤギテレビ「OH! バンデス」(95~04)等、レギュラー出演、その後、ビジネスコーチとして独立。

「コミュニケーションスキルの向上」「自発的な部下の育成」

「子どものやる気を引き出すコーチング」「人生を変えるスマイルパワーについて」等をテーマにしたコーチング研修、コミュニケーション研修講師として活動中。

経営者、起業家へのパーソナルコーチングも行っている。